

目 次

はじめに	
事業要旨	3
事業目的	5
事業の実施内容	5
調査の結果	9
第Ⅰ部 発達障害者本人対象のアンケート調査	9
第1章 アンケート調査の概要	9
1 目的	9
2 実施要領	9
3 アンケート用紙記入者	10
4 年代別・男女別回答者数	11
5 住んでいる都道府県	12
6 現在の状況	13
第2章 読み書き困難についての自己理解	15
1 自分が得意だと思うこと	15
2 苦手なこと	16
3 読み書きについての工夫	17
第3章 読み書き困難についての社会的障壁	20
1 街中の看板や交通機関の表示	20
2 商品や製品の説明書・契約書	23
3 各種書類	26
4 仕事や職場における困難	39
5 選挙の際の困難	43
第Ⅱ部 発達障害者の親対象のアンケート調査	49
第1章 アンケート調査の概要	49
1 目的	49
2 実施要領	49
3 都道府県別回答者数	50
4 子どもの年代と診断・判定の状況	51
5 初診の時期	52
6 読み書きについての療育や指導の状況	52
7 二次障害について	57
8 障害者手帳の取得状況	59
9 障害者基礎年金の受給状況	60
10 現在の状況	61
第2章 成育歴から見える困難さ	62
1 幼少期の困難さ	62
2 学齢期の困難さ	64
第3章 現在の読み書き困難の状況	67
1 生活における困難さ	67
2 働くうえでの困難さ	69
3 家族のサポート状況	71
4 身につけている工夫や機器などの利用	71
第4章 親の心配	72
1 子どもが使えるようになって欲しいサポート	72
2 親のサポートが無くなった時の心配	72
3 相談機関・相談場所	73

第Ⅲ部 顕在化されにくい読み書き困難の実態	77
第1章 顕在化されにくい要因	77
1 得意だと思っていること	77
2 一番苦手だと思っていること	78
3 本人が工夫していること	81
4 読み書き困難についての認識	82
第2章 ヒアリング調査	90
1 発達障害者本人からのヒアリング調査	90
2 支援者からのヒアリング調査	110
第3章 読み書き困難に対する支援	114
1 療育・指導の状況	114
2 IT機器の利用との関連	122
3 親の座談会	
「読み書き困難についてのライフステージを通じた切れ目ない支援」	126
4 地域による比較	130
分析・考察	135
検討委員会の実施状況	137
成果等の公表計画	137
資料編	141
I アンケート調査用紙（発達障害者本人用）	141
II アンケート調査用紙（発達障害者の親用）	145
III 基礎統計表1（発達障害者本人からの回答分 単独集計）	149
IV 基礎統計表2（発達障害者の親からの回答分 単独集計）	156
事業協力団体・協力者	165

おわりに